



東北大学

2012年7月9日

報道機関 各位

東北大学

「東北大学 ILC 推進会議」*が設置されました。

<概要>

先日ジュネーブ郊外の欧州合同原子核機構(CERN)に設置された大型ハドロン衝突型加速器(LHC)において「神の粒子」と呼ばれるヒッグス粒子が発見され、素粒子物理学の新しい時代の幕が開きました。ヒッグス粒子を始めさまざまな未知の現象に対してLHCを遥かに上回る感度を持ち、次世代の加速器として世界中の研究者の注目を集めているのが国際リニアコライダー(ILC)です。日本国内にもILCの有力候補地が2つあり、北上山地はその一つとなっています。ILCは全長が約30kmで、世界中から常時数千人の科学者や技術者が集まり、数十年にわたって世界の素粒子物理学研究の中心となると考えられています。ILCは素粒子物理の究明の最先端となるばかりではなく、応用分野である医療、生命科学、情報通信、エネルギー等での先端的な研究開発の進展と持続的なイノベーションを誘発し、そこで生み出された研究成果と先端技術は東北全域から日本全国、そして世界へと発信され、産業、経済、文化に大きな波及効果を与えられると考えられています。

東北大学はこれまで、ILC研究開発の国際的拠点の一つとして、そして東北加速器基礎科学研究会の一員として、ILCの推進に関わってきました。ILC実現への気運が全国的にたかまる今、東北地域の学術の中心機関としての東北大学が果たすべき役割はますます大きくなってきています。このようなことから、ILCの実現にむけた東北大学における活動を積極的に推進するため、担当理事や関連する部局長ほかの委員からなる全学横断の「東北大学 ILC 推進会議」が、さる7月3日に設置されました。その所掌事項は次のようなものとなっています。

- (1) 東北大学における ILC に関連した研究活動の連携と推進。
- (2) 地域と連携し、ILC による東北地域の産業振興・復興への研究活動の推進。
- (3) ILC の意義を広く社会に周知するための、講演会や広報活動、各種イベントの開催、ウェブサイトの製作。
- (4) ILC 候補地の立地調査の推進。
- (5) その他、ILC の推進に関する事項。

【用語解説】

国際リニアコライダー (ILC) :

史上最大・最高の高エネルギー電子・陽電子加速器。地下に埋められた直線トンネル内に設置する精密な超高真空ビームパイプの一方の端から電子を、もう一方の端から陽電子のビームを入射してほぼ光の速度にまで加速。中央部で正面衝突させ、ビッグバンとほぼ同じ高エネルギー状態（宇宙創成 1 兆分の 1 秒後の状態）を作り出し、その瞬間に発生する素粒子等を測定・解析することで、宇宙の起源解明への扉を開くもの。

【お問い合わせ先】

(研究に関すること)

東北大学理学研究科物理学専攻

教授：山本 均

電話番号：022-795-6730

E-メール：yhitoshi@epx.phys.tohoku.ac.jp

(会議の設置に関すること)

東北大学研究協力部研究協力課

佐藤 敬浩

電話番号：022-217-4836

E-メール：kenkyo@bureau.tohoku.ac.jp

※ 本会議名称は、プレスリリースを行った 7 月 9 日時点においては、「東北大学 I L C 推進協議会」としておりましたが、7 月 10 日に開催された「東北加速器基礎科学研究会」総会において、同会が「東北 I L C 推進協議会」へ移行されたことに伴い、名称類似の問題を避けるため、「東北大学 I L C 推進会議」に変更いたしました。